

令和7年度 筑前町立中牟田小学校 1学期学力向上プラン

■視点1-②

《中期目標（指標）》自分で選択し、自分で決め、学びを創り出す児童の育成

（令和10年度の全国調査の標準化得点：国語100以上 算数100以上）

《短期目標（指標）》習得した知識や技能を使って、課題を解決する子どもの育成

《成果指標》令和8年度全国学力・学習状況調査【小6、中3】・県学力調査【主】において、

（県標準化得点〈県比〉国語100 算数100以上）、（四分位層C・D層の割合の合計〈県比〉国語+10 算数+10 以下）

【1学期】

■視点5

【家庭・関係機関との連携】

- 《取組（指標）》
- ⑤夜須校区家庭学習強化週間推進（年間3回）
 - ※家庭学習の手引きの配布、周知
 - ※とことん名人の表彰
 - ⑤家庭学習の習慣化
 - ※モデル提示や内容の選択
 - ※学年×10分の徹底
 - ※家庭自学の日（月1）
 - ※チェック表の活用（賞賛する）
 - ※CD層に応じた家庭学習の実施
- 《成果（指標）》
- ◆児童アンケート「宿題やとことん週間で、自分で計画を立てて学習をしている」(85%以上)

■視点2

【授業づくり】

取組1 主体的に学習に取り組む態度等の育成

《取組（指標）》

- ③解決する方法を選択したり学習する相手を選んだりしながら、自己の学びを調整する時間を設定する。
- ③何ができたのか、なぜできたのか、どんな方法が有効だったのかを振り返る活動を設定する。

結果

《成果（指標）》

- ・問題を解決するために学習した内容を振り返ったり友達の良い考えを取り入れたりして、最後まで自分で考えながら取り組むことができた。(3.5以上)
- ・課題に粘り強く取り組み、自己調整しながら自力解決するための工夫がなされている。(3.5以上)

結果

取組2 ICT活用

《取組（指標）》

- ④端末を使って考えを共有したり、友達の考えとの共通点や差異点を比較したりする活動を設定する。
- ④端末で振り返りを行い、ログを蓄積し、次の時間の課題解決や見通しの際に活用する。

結果

《成果（指標）》

- ・自分の考えを説明したり、友達の考えと比べたりして自分の考えをよりよいものにすることができた。(3.5以上)
- ・コンピューターや情報通信ネットワークを活用した学習がなされている。(3.5以上)

結果

■視点4

【教員の意識・指導力の向上】

《取組（指標）》

- ⑥県学力調査及び全国学力テストを活用した校内研修の実施（年1回）
- ⑥児童による授業評価（各学期1回）
- ⑥小中合同研修会の実施（中学区合同研1回 学力向上協議2回）
- ⑥新中牟田スタイル実践（学期1単元以上）
- ⑥CD層の児童の支援についての研修会

《成果（指標）》

- ◆児童アンケート 児童による授業評価の評定平均(3.3以上)
- ◆教員アンケート 授業チェックリストの評定平均(3.3以上)

■視点3

《取組（指標）》

- ①「レディネステスト」「前同領域でのテスト」等を活用し、授業前子どもの学習実態を把握する。
- ②月1回の「学びタイム」と学期末の「パワーアップタイム」の実践を行う。(算数科を中心に)

結果

【学力基盤づくり】

《成果（指標）》

- ・各学年ごとに終礼ボードを活用し、CD層を意識した基礎・基本定着のための取り組み目標を設定する。(月初めの終礼で)
- ・終礼で取組の成果や課題を確認し、改善策を考える。(週1回以上)

結果

■視点1-①

県学力調査、全国学力調査及び「授業評価アンケート」、「授業チェックリスト」等から見た「課題」

授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」

四分位層の県との差、標準化得点		国語					算数・数学				
		A層	B層	C層	D層	標準化得点	A層	B層	C層	D層	標準化得点
	R6県調査	-4.7	+4.7	+2.3	-2.3	98.4	-9.6	-2.4	+3.2	+8.8	93.2
	R7全国調査	この部分は、7月末以降に県教育委員会が示す、福岡県の学力層(四分位層)の割合をもとに、各学校が記入。県100の算出方法は県教育委員会からの文書を参照すること。									
	R7県調査	この部分は、7月末以降に県教育委員会が示す、福岡県の学力層(四分位層)の割合をもとに、各学校が記入。県100の算出方法は県教育委員会からの文書を参照すること。									
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・C・D層の割合が全国よりも高い。D層の割合が他の層に比べても高く、基礎・基本の内容に課題がある。 ・国語科…漢字の書き取り。修飾語。インタビュー中に行った質問の意図を問うこと。 ・算数科…資料の読み取り。言葉、図、絵、式を用いて記述で説明すること。基本的な計算技能。 									

- ①CD層の実態把握と習熟・補充の場が不足している
- ②基礎的基本的な問題を解く力が低下している
- ③問題を解く方法や誰と学習するかを自分で選んで決定する機会が不足している
- ④ICTを活用して自分の考え他者と比較したり、交流活動をしたりする場が不足している
- ⑤目的・実態に応じた家庭学習が不足している
- ⑥本校児童の学力の課題の把握・改善が十分にできていない